

花きの市場別販売概況(2月見通し)

令和4年1月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	寒さの影響で国産は少なく、輸入品もコロナの影響でエア一便が不安定で、品薄単価高となった。月初めより婚礼需要が高まったが、今後のコロナの状況次第でキャンセルが多くなるか？(大田花き)。栃木、群馬、静岡、愛知等 業務需要中心も寒気の影響で少ない入荷が続き中根相場が続いた(FAJ)。品薄傾向が強く、高値で推移(第一花き)。国産・輸入ともに入荷少なく単価は強め(世田谷花き)。国産は重油高による焚き渋りと、輸入品は輸送コストの影響で大きな出荷のピークはない。業務需要の引き合いがあり品薄感がある(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	フラワーバレンタイン需要に向け、赤やピンク系の引き合いが強まる。2月の入荷数量は大きな増加は見込めない。
		FAJ	栃木、群馬、神奈川、静岡等 前半バレンタイン需要で赤、ピンクの引合い強まり数量によっては高値
		第一花き	入荷は増えては来ないが、徐々に相場も落ち着いているがバレンタイン需要で盛り上がるか。
		世田谷花き	引き続き少ない入荷となる。上旬はバレンタイン需要により、赤系やピンク系はさらに、品薄感が強くなる。
		東日本板橋花き	入荷量は横ばい。天候によるが2月末からの入荷量増加に期待。
アルストロメリア	現状	愛知、長野中心に数量は順調に出ているが、東北・北海道は、低温の為数量少ない状況。葬儀需要中心だが、全般的に引き合いは強い(大田花き)。長野、山形、愛知より入荷。冷え込み厳しく数量増えず少ない状況続き相場は安定継続(FAJ)。下旬までまでは例年以上に高値安定(第一花き)。各品目冷え込みで少ない中、安定出荷で一定の引き合い。各業態動く(世田谷花き)。愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量だが、天候次第で入荷増減あり(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	愛知、長野中心の出荷となる。数量の大きな増減はなく、業務需要が中心となる見込み。
		FAJ	引き続き長野、山形、愛知より。数量はそれほど増える見込みなく、需要は例年通り葬儀主体
		第一花き	徐々に増えてくるが、相場は落ち着きそう。
		世田谷花き	長野県産が各市場のフェア需要で、下位等級強くなる。上位中心に安定入荷。
		東日本板橋花き	愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。